

アスベスト吹き付け—— 改修費初めて認める

公立学校の三十校に二校
あるとされるアスベスト
(石綿)吹き付け教室の改
修費が、初めて文部省の国
庫補助事業として制度的に
認められた。公立学校施設
費として内示された三千五
十五億円の中で配分される
ため、具体的にどの程度改
修費をとるか、どの学校
を補助対象とするかは、文
部省が実施計画を固める来
年夏ごろまではっきりしな
いが、対象は建築後の経過
年数に関係なく、小、中学
校、幼稚園すべてとするこ
とになった。

アスベストは断熱性、吸

公立の小・中学校、幼稚園対象に

音性に優れ、燃えにくいと
いう利点があるため、幅広
く使われ、現在吹き付け教
室があるのは全国で千六十
二校(園)＝文部省調べ。
しかし、アスベストの繊維
がはがれて空気中に漂い、
それを吸い込むと肺がんの
原因になる恐れがあること
がわかったことから、今で
は全く使われていない。
今回の大蔵原案では、全
般に新規事業が大幅にカッ
トされる厳しい査定の中か
で、このアスベスト対策は
「緊急性が極めて高い」
(主計局)として盛り込ま
れたもの。